

研修内容と修得目標

A：必修項目（自ら実施可能） B：経験すべき項目（補佐的な経験を含む）

I. 基本的項目

1. 基本マナー(A)

社会人としての姿勢

医師としての姿勢

勤務医としての姿勢

公務員としての姿勢 地方公務員としての規律の遵守

病院の理念

安全確保、リスクマネジメント

2. 医師・患者関係(A)

患者への対応

カルテの記載

紹介状、報告書の作成

診断書の発行

死亡時の対応

3. 他部門との連携(A)

他科との連携

他病院、医院、他施設（福祉施設、消防を含む）との連携

コメディカルスタッフとの連携

4. 社会医療への理解(A)

福祉制度

公費負担制度

感染症対策

メディカルソーシャルワーカーとの協力

5. 医療経済への理解(A)

保険医としての義務

健康保険制度

レセプト請求業務の理解

6. 学術活動の基礎(A)

文献の読み方（特に英文論文）

文献検索、情報収集

学会・研究会発表

大学、研究施設との連携

論文作成

II. 専門領域

消化器

基本的診察法

基礎的検査法と解釈(A)

便検査、便培養、肝機能、膵機能

腹水穿刺、細胞診(A)

腹部超音波検査(A)

消化器X線検査(A)

腹部単純、上部消化管造影、小腸造影、下部消化管造影

胆嚢・胆管造影、腹部CT、MRI、血管造影(B)

内視鏡(A)

食道、胃、ERCP、大腸

腹腔鏡(B)

針生検と病理学的所見(A)

治療(A~B)

食事療法

薬物療法

栄養管理

経腸栄養、IVH(A)

胃ろう造設、管理(B)

内視鏡治療(B)

ポリペクトミー

食道静脈瘤硬化術

腹腔鏡下胆嚢摘除術

非観血的治療(B)

PEIT、PMCT

外科適応の決定(A)

循環器

基本的診察法(A)

基本的検査法と解釈

心電図、負荷心電図、ホルター心電図(A)

血液ガス(A)

X線検査

胸部単純X線(A)

CT(A)

血管造影(B)

核医学検査の解釈(B)

心エコー、カラードップラー(A)

トレッドミル検査(A)

治療(A)

食事療法

薬物療法

輸液管理

救急蘇生、救急処置

除細動

ペースメーカー(A)

心臓カテーテル検査(B)
血液透析、血漿交換療法(B)

血液

基本的診察法(A)
基本的検査法と解釈(A)
一般血液検査
末梢血塗抹標本、骨髓塗抹標本、細胞診(A)
特殊染色(B)
血液凝固能検査(A)
骨髓穿刺、骨髓生検(A)
リンパ節吸引細胞診(A)
細胞表面マーカー(A)
遺伝子解析、染色体分析(A)
治療(A)
輸血
癌化学療法と支持療法
感染症治療・予防
DICの管理
クリーンルーム管理
末梢血幹細胞移植
血漿交換療法

呼吸器

基本的診察法(A)
基本的検査法と解釈(A)
呼吸機能、血液ガス
喀痰検査、培養、細胞診
アレルギー検査
胸水穿刺、細胞診
X線検査、画像診断(A)
単純X線
CT、MRI
気管支造影
内視鏡(B)
気管支鏡
TB LB
肺生検、胸膜生検(B)
治療(A)
薬物療法
酸素療法
輸液管理

抗生剤

呼吸管理

レスピレーター、気管内挿管、気管切開

化学療法

放射線療法、手術療法の適応の決定

代謝・内分泌

基本的診察法(A)

基本的検査法と解釈(A)

血液生化学、脂質

糖負荷試験

ホルモン検査

X線検査、画像診断

眼底検査

治療(A)

食事療法、生活指導

栄養士とともに

薬物療法

薬剤師とともに

輸液療法

糖尿病教室の運営、患者の啓蒙活動への参加

神経

神経疾患の基本的診察法(A)

神経学的所見

知能の評価

精神疾患の診断

基本的検査所見(A)

脳波

髄液検査

画像検査(A)

頭蓋単純

CT、MRI

生検(B)

治療(A)

食事療法、生活指導

薬物療法

輸液療法

血栓溶解療法

リハビリテーション

救急医療(A)

心肺蘇生
緊急検査
画像診断

その他

麻酔管理(A)

麻薬の管理(A)

感染症への対応(A)

結核、infection control、食中毒、いわゆる伝染病

H I Vへの対応

針刺し事故・体液被曝時の対応

癌患者のターミナルケア、ペインコントロール(A)

患者教育（健康教室、糖尿病教室）(B)

市内の開業医との病診連携(A)

福祉施設、老人施設との社会医学的連携(A)

大学病院、研究施設との診断、治療面での連携(A)



連絡先

市立芦屋病院総務課

〒 659-8502 兵庫県芦屋市朝日ヶ丘町 39 - 1

電話 0797-31-2121

FAX 0797-22-8822

メール info@ashiya-hosp.com

担当 船曳